

質 問 回 答

2020 年 5 月 25 日

「(案件名)ブータン国国土空間データ基盤構築を通じた地理空間情報活用推進プロジェクト」

(公示日:2020 年 5 月 7 日/公示番号:19a01332)について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 P21(4)セミナー実施 9 行目の「国連 GGIM-AP」について	開催予定地はどこの国(都市、開催期間)になりますでしょうか？また、参加費(登録料、資料代など)の費用はいくらでしょうか？	開催予定地は現時点では未定ですので、GGIM-AP へのカウンターパート 4 名の参加費及び旅費として、2,000 千円の定額計上をお願いします。
2	企画競争説明書 P16(4)活動 2-3、2 行目の「GIS Tools」について	「GIS Tools」とは、特定のソフトの名称でしょうか。それとも GIS 機能を持つソフトを指す一般名称でしょうか。	GIS 機能を持つソフトを指す一般名称として記載しています。例えば QGIS や ESRI 社の ArcGIS がその対象として考えられます。
3	署名済 R/D P8 Satellite Images について	JICA CNDP project とは、何でしょうか。	Comprehensive National Development Plan (CNDP)の略で、2017 年 2 月～2019 年 6 月に実施されたブータン国「全国総合開発計画 2030 策定プロジェクト」の JICA 技術協力プロジェクトを指します。
4	第 1 企画競争の手続き 7. プロポーザル等の提出 (6)見積書(入札説明書 P.5)	3)において、「NSDI の ICT システム機能拡張一式 5,000 千円」となっていますが、ハードウェアとソフトウェア開発の双方を含めた金額でしょうか。 また、この金額は上限額ではなく、プロジェクト実施時において、必要に応じ、貴機構と調整できるとの理解でよろしいでしょうか。	ハードウェアとソフトウェア開発の双方を含めた金額となります。またこの金額は上限額ではなく、プロジェクト実施時に、必要に応じて、金額調整可能な金額となります。

5	<p>第3 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 (2)現地スタッフ・コンサルタントの活用(入札説明書 P.17)</p>	<p>「現地スタッフ等を効果的に活用しながら」とありますが、想定する現地スタッフは C/P 機関の職員との理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>現地スタッフ等とは、業務実施契約の中で、一般備人費目、特殊備人費目における現地事務員またはローカルコンサルタントを想定しています。本業務においては、関係するブータン側機関が多く、案件の性質上、関係機関との情報共有及びその仕組みが重要なことから、現地事務員・ローカルコンサルタントを効果的に活用していくことが必要と考えています。</p>
6	<p>第3 特記仕様書案 6. 業務の内容 (4)セミナーの実施(入札説明書 P.21)</p>	<p>注釈7において、「国連 GGIM-AP へのカウンターパート4名(準高級)」の参加必要経費を本見積にて計上することとありますが、コンサルタントの帯同は想定されていますでしょうか。その場合、必要経費やMMは本見積に含めるとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>コンサルタントの帯同を想定していますので、そのためのMMを本見積に計上ください。また必要経費に関しては、1. の回答に記載の通り、2,000千円の定額計上をお願いします。</p>
7	<p>第4 業務実施上の条件 5. 機材の調達 (1)JICAによる調達機材 (2)JICAがコンサルタントに購入・輸送業務を委託する資機材(入札説明書 P.24~25)</p>	<p>NSDIのICTシステム機能拡張一式(500万円の定額計上)、及び「JICAが必要だと想定する機材」を概算すると、コンサルタントが調達できる上限額の1,500万円を超過する可能性があるかと思えます。1,500万円を超える場合、貴機構が一部を調達すると理解してもよろしいでしょうか。</p>	<p>ICTシステム拡張一式(500万円の定額計上)は「再委託費」へ計上することを認めます。また、「JICAが必要だと想定する機材」(一般業務費として計上すべきものを除く)で1,500万円を超えることは想定していません。</p>
8	<p>3 競争に付する事項 (4)契約履行期間(予定):2020年7月 ~ 2023年10月</p>	<p>現地渡航可能時期はいつ頃を目途に想定されているのでしょうか。 また新型コロナウイルス感染拡大の影響次第では、契約交渉時のみならず現地業務時期、業務内容の変更等については、随時協議可能ということでもよろしいでしょうか。</p>	<p>プロポーザル及び見積書は、現地渡航が10月から開始できる想定で作成ください。 一方で、10月の現地渡航前に実施可能な国内業務についても提案があればプロポーザルに記載ください。 ご理解の通り、新型コロナウイルスの対策に係る日本やブータン国の状況次第で、現地業務時</p>

			期、業務内容の変更等については、随時協議させていただきます予定です。
9	5. 実施方針及び留意事項 【共通事項】 (11) 標定点測量、現地調査/補測に係る費用	現地調査等は先方実施機関負担で実施するが、技術移転や技術指導のための団員の同行と費用計上は可能でしょうか。	技術移転や技術指導のための団員の同行と費用計上は可能です。
10	6. 業務の内容 【共通事項】 (4) セミナーの実施	2020年9月開催予定のGGIM-APの会場はどこでしょうか。 未定の場合は、仮としてどこの国での開催を想定し、費用を計上すればよろしいでしょうか。	上記「1」の回答を参照ください。

以上